105号
2026年秋季号
部内資料

住みよい我孫子を作るための情報紙

東風

日本共産党我孫子東後援会
岩井事務所　サンハイム湖北台101
我孫子市湖北台8-18-8
TEL＆FAX 04-7188-2141
我孫子市議団ホームページ
https://jcp-abiko.com/

9月議会報告

代表質問の冒頭に、8月に参加した原水爆禁止世界大会広島の報告をしました。核兵器の廃絶を多くの参加者が求めていることを紹介し、核兵器禁止条約の参加に背を向けている日本政府を批判しました。代表質問は、大綱1　防災について、大綱2　福祉行政　大綱3　環境行政の3点です。


船橋優議員

大綱1　防災について

公共施設の耐震基準について

1981年以前の旧耐震基準の公共施設の件数、旧耐震基準の建物の耐震診断、耐震補強について尋ねました。また、熊本地震では大きなガス爆発があり、公共施設のガス設備の安全確認を取り上げました。

市は、旧耐震基準の建物は239棟、鉄筋コンクリート造は44棟、うち7棟は耐震性がある。残りは耐震補強をしている。避難所18棟は、耐震性があるとしている。

また、3年おきの建築基準法による緊急報告では、耐震性に影響ある報告はない。106公共施設のガス設備の安全確認・点検の状況は、震度5以上になるとガスメーターの自動遮断が働くことで安全性を確保している。

施設の点検・安全確認を強く求め、船橋氏は、プロパンガスを使っている14施設の点検・安全確認を強く求めました。

8月13日の千葉豪雨について。

ア　1時間当たり何ミリの雨量で設計されているのか

市は下水道計画に基づき50ミリとしているが、ゲリラ豪雨などで50ミリでは間に合わない。60ミリ～70ミリに上げるよう計画すべきと提案しました。

イ　アンダーパスなどで排水ポンプのポンプは、今回正常に働いたか

排水ポンプは正常に稼働した。

ウ　排水ポンプの点検と、非常用電源の有無について

非常用電源は千葉県では治水課5か所にあり、非常用電源がない所では、市内業者と災害時の協定を結び発電機を借りることにしている。

アンダーパスの管理は職員がパトロールして冠水を確認して交通を止めている。通行止め方法はバリケードを並べるなどしていると回答した。

電光掲示板をつけた自動の遮断機の導入を提案し、市は遮断機が交通止めに有効な手段であることを認めて、導入に向けて検討すると回答しました。

我孫子4丁目の浸水について

ア　数年前に設置された調整池があふれた原因

イ　付近の排水管を大きくする計画

ウ　住宅の床下浸水を防ぐ対策

市は、今回の千葉豪雨では、貯留能力を超えた大雨で、これまで経験したことのない雨量であり、ハード整備には限度がある。我孫子4丁目水害対策協議会とこれまで検討してきた対策方針を決定する予定と回答しました。

電気被害について尋ねましたが、**市は把握していないとのことなので、電気のことも聞き取る取り上げるよう要望しました。**また、床下に水が入ること、通気口をふさぐ、開け閉めできる提案をしてもらいたい。また商店で止水板を設置する際の助成も要望しました。

市は、我孫子4丁目水害対策協議会で対策案を検討しているので、議員から指摘のあった提案は協議会で意見交換をしていくと回答しました。

大綱2　福祉行政

高齢者の認知症と難聴について

ア　「75歳を迎えられる方へ」の手紙について

イ　補聴器購入助成制度の創設を

加齢性難聴が日常生活の質を落とす原因となり、認知症へつながる危険な因子となることが指摘されているとして、「75歳を迎えられる方へ」の手紙では、難聴と認知症の説明がない理由について最初に質問しました。

市は、この手紙では難聴について記載していないが、別に啓発資料「難聴と耳のフレイル」を作り、市民に訪問や、出前講座、高齢者なんでも相談室などで配布している。

今回は資料が多くなるため入れられないが、次回は同封することを検討すると回答しました。

補聴器購入費助成制度導入を日本共産党議員は何度も議会で質問してきましたが、今回市の回答は次の通りです。

加齢による聴力の低下はだれにでもある。補聴器は適切に使用することで効果が発揮される。以前、医師会との意見交換において、身体障害者手帳取得基準による支援が妥当という見解を頂いている。公的な国の支援助成制度を創設すべきと考えており、市独自で補聴器購入費助成を実施する計画はない。

認知症と難聴が大いに関係があると指摘されており、全国で723自治体で補聴器購入助成が実施されています。近隣自治体でも松戸市、流山市、鎌ヶ谷市で助成制度があり、9月議会で柏市でも助成制度創設の議案が審議されていることを紹介して、我孫子市で制度を設けることを再度要請しました。

大綱3　環境行政

リサイクルセンター整備運営事業について

ア　8月28日締切りで入札参加を表明したJVはいくつあったか

入札参加表明した企業数は入札手続き期間中のため、落札者が決定する来年3月下旬（予定）までは答えることができない、と回答しました。

イ　8月6日に公表された「入札参加資格審査に関する質問への回答書」について

市は入札公告から7月24日まで、入札参加資格審査に関する質問を受付けて、回答書を8月6日にホームページ上で公表しました。市は、11月は概要ヒアリングを実施する。参加できる企業は、6社か7社あったと回答しました。

大きな工事なので、透明性を確保することを求めました。



（裏面に続く）

第2次高市改造内閣 これでいいのか？ 閣僚人事

高市首相は9月17日に内閣改造を行い、第2次高市改造内閣を発足させました。10人が交代し、7人が初入閣です。女性閣僚は3人で主要7か国（G7）では引き続き最下位です。

自民党の派閥裏金事件に関与した議員が初入閣しました。簗和生氏（農林水産相）、関芳弘氏（文部科学相）です。

高市首相は「必要な政策能力を持つ方」「説明を尽くし、2回の選挙を通じて有権者の皆さまに国政に送り出していただいた」と弁明しています。関氏は、過去に統一教会にも関与していました。

日本維新の会・幹事長の中司宏氏（こども・規制改革相）が初入閣しました。中司氏は枚方市長のとき、清掃工場建設の談合で有罪判決を受けています。

新しい内閣になって、今までよりいっそう戦争国会づくり・暴走政治が続くのでしょうか？

我々国民の感覚からしたら理解できませんし、非常に不愉快です。

炎天下のもと72名が参加した平和行進

7月25日(土)、我孫子駅東口近くの公園で出発式を行いました。市から企画経済課の高見沢部長さんが参加され、挨拶と市長のメッセージの紹介をしました。次に、野村実行委員長の挨拶があり出発式が終了しました。

我孫子駅前から国道356号に出て、新手賀沼公園通りを行進して手賀沼公園に到着しました。

行進しながら、「日本政府は、核兵器禁止条約に批准・署名せよ！」「憲法改悪反対！」「平和が一番！」などとシュプレヒコールをしながら行進しました。

手賀沼公園に到着後、平和記念碑の前で記念写真を撮りました。その後到着式を行い行進した感想を発表し「原爆の歌」を歌って今年も終了しました。

資源ごみが置かれている現場

7月21日(火)、資源ごみが置かれている状況を見るために現場へ見学しに行きました。

建屋には、資源ごみを種類別に置いてあったり、外に置いてあったりしてありました。ほとんどの働いている方は、炎天下のもと外で仕事をしていました。

市は新リサイクルセンターを建設する計画を発表し、3月議会で建設することが決定されました。

現在の資源ごみを処理する機械や建屋は古くなり、炎天下で働いている人のことを考えれば、新リサイクルセンターの建設はやむをえないと思うが、事業費209億で高すぎる建設費118億、莫大な建設費で市の財政不足が懸念されます。見直しした方が良いと、市民から声が出ています。



我孫子平和フェスティバル

8月22日～23日の2日間にわたって市民プラザのホールで開催されました。高校生が描いた原爆の絵や平和に関係した展示物が掲示されていました。22日は、平和の歌声・「戦争と建設労働者」の講演、「米軍が一番恐れた男」の映画。23日は、アニメ「象列車がやってきた」の上映、「啄木から受け継ぐもの」の講演、短歌創作教室、原水爆禁止世界大会に参加した方の報告、「平和の願いを込めと」のお話、「いま憲法が危ない」の講演。2日間盛りだくさんの内容でした。

特に印象に残ったのは、千葉土建の方が話した「戦争と建設労働者」の講演で、横須賀で20代の青年が米兵の運転する車にはねられ死亡した事故で、警察に逮捕されることなく、米兵は米軍基地に逃走し、その後アメリカへ帰国し行方不明となった事件です。日米安保法条約の関係で逮捕できなかったという話でした。

もう一つは、体内被曝を受けた方の話です。母親が妊娠している時に被爆を受けてしまい、無事に出産したが、苦労して成長してきたことや、原爆投下により街が焼け野原になったり、尊い命を落とした人が何万人もいたという話です。

8月15日の終戦記念日に、我孫子市委員会と共産党各後援会は、市内各駅で戦争反対の宣伝活動を行いました。

高市内閣は、「戦争できる国づくり」を掲げ、危険な政治を推し進めようとしています。「憲法改悪反対」「戦争反対」「平和が一番」を市民に訴えました。



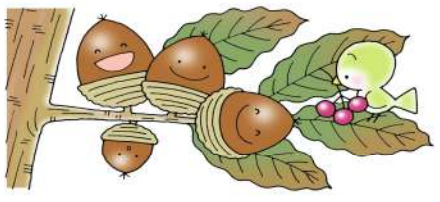
地域の話題

竹内神社の例大祭が9月19日～21日に行われました。

布佐は利根水運で栄えた所です。江戸時代中期の享保年間に始まり今に続いている祭りです

5町内の山車とこども神輿も加わりにぎやかに行われました。





日本共産党発行

しんぶん赤旗

日　刊●月 3497円
日曜版●月 990円

無料法律相談

東葛事務所の弁護士による相談です。
相談のある方はご連絡をお願いいたします。

相談日　毎月第4木曜日 14:00～16:00
場　所　岩井事務所
連絡先　090-7250-7213

